

第2期 第3回 新宿区多文化共生まちづくり会議 議事概要

日 時 平成27年3月24日（火）14:00～16:00

場 所 新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室

出席委員 毛受委員、山脇委員、川村委員、稲葉委員、郭委員、安藤（博）委員、櫻井委員、金委員、サプコタ委員、高委員、センブ委員、江副委員、鈴木委員、バーバー委員、盛委員、李委員、梶村委員、安藤（陽）委員、井上委員、本多委員、太田委員、森田委員、勝村委員、竹内委員 24名

欠席委員 洪委員、丁委員、イーイーミン委員、シュレスタ委員、小林委員、栢木委員、飯嶋委員 7名

1 開会

2 区長挨拶

3 新宿区多文化共生実態調査について

（1）外国人区民調査

- ・日本語を学びたくないと回答した人にはその理由を尋ねたい。
- ・日常生活でのトラブル、偏見と差別に関してはその有無だけでなく、具体的な事例を尋ねることで解決策を考えることができるのではないか。
- ・「子育て」は、「出産・育児」「学校教育」と細分化して項目立てした方が良い。
- ・ルビを振っても難しい用語がある。外国人が理解しやすいような日本語表現にしたい。

（2）日本人区民調査

- ・「日本人と外国人の…」とすると二項対立があるように感じられる。両者が一緒に取り組むことを目指す協働の視点で尋ねたい。
- ・帰化した方には、日本人用の調査票の内容が馴染まない可能性がある。「現在日本国籍の方」に日本人用の調査票が送られている旨、記載すると良いか。
- ・外国人への偏見・差別について、そういった感情の有無について聞くか、あるいは偏見・差別があるところを見た聞いた経験の有無を聞くか。

（3）インタビュー調査

- ・「留学生」は、日本語学校、専門学校、大学それぞれ生活上の悩みや目標も異なるため、それぞれに応じた設問が必要である。

- ・事業者向け設問は、最近来日して商売をしている人だけでなく、長らく日本で仕事をしている人を想定したものも必要である。
- ・「区に望むこと」といってもすぐに思いつかない。区の事業についてある程度説明し、それに対する評価を聞いてはいかがか。

(4) その他

- ・送付文に、区の多文化共生施策に対する姿勢や調査目的を明確に書いてはいかがか。

4 その他

- ・事務局から、調査票内容の確定までのスケジュールについて説明を受けた。

5 閉会